

2022 年度北部教員養成講座「開講式」報告書

去る 4 月 11 日（月）に北部生涯学習推進センターにおいて、2022 年度北部教員養成講座「開講式」を開催しました。38 人の参加があり、初めて参加したのは 8 人で、ほとんどが複数回に及ぶ参加者でした。教室は、今度こそは、という思いや気概に満ち、受講者も講師も合格を目指して共に頑張っていきたいと決意しました。

今年度は、新たに国語担当の久高利美子先生を講師に迎え、今から 2 次試験対策の強化も図っていく予定です。

開講式終了後は、久高先生から受講生に次のメッセージが送られました。

「教職は子どもと共に幸福を追求する職業であり、子どもの学ぶ権利を保障し、幸福追求権を保障する職業である。」
引き続き、出願から 2 次試験までを見据えて、志願書や自己アピール文の書き方の指導が行われました。

今年度の沖縄県の教員候補者選考第一次試験は 7 月 10 日となっており、試験まで既に 3 か月を切ってしまいました。受講生には、志を同じくする仲間と互いに励まし合い、積極的に全国模擬試験にも挑戦し、学ぶことの楽しさ、できたときの達成感を自ら体験し、子どもの主体的な学びを支援する教師を目指して欲しいと思います。

講座は 2 週目を迎え、学生 41 人、一般 15 人、計 56 人が登録しています。前年度に比べ、一般受講者は減少しましたが、学生受講者が増え、特に 3 年次受講者が 10 人を数え、これまでにない活気的な雰囲気の中で講座が進んでいます。

★ 受講者の決意

- ・最後まで諦めずに頑張りたい。 ・時間の使い方を工夫する。
- ・北部の子ども達の為になれるよう頑張る。 ・現役合格を目指す。
- ・絶対に今年で合格する。 ・今できることをやる。
- ・全力で取り組む。 ・学習計画を立てて実行する。
- ・毎日コツコツ頑張る。 ・仲間と共に頑張る。
- ・一発で採用されるために、自分自身に打ち勝ちたい。
- ・現場で働いていることを強みに目指した道を頑張る。
- ・自分に厳しく、学ぶことが楽しいと思えるように。
- ・学習指導要領を完璧に覚えられたいようにしたい。
- ・来年受験ですが、今年度で受かる気持ちで頑張る。



写真 教師のやりがいについて語る久高先生

○教科別講座登録者数（2022 年 4 月 21 日）

	英語	養護教諭	小学校	特別支援	保健体育	家庭	合計
一般	2	3	8	1		1	15
4 年次	11	11			6		28
科目等履修		4					4
3 年次	1	6			2		10
合計	14	24	8	1	8	1	56

○教職教養及び専門教養受講者数（専門教養は受講者が 5 人以上から開講予定）

	教職教養	英語	養護教諭	小学校+特別支援	保健体育	合計
一般	7	2	3	8+1		14
学生	46	12	21		8	41
合計	53	14	24	8+1	8	55

報告 2022 年 4 月 25 日（月）

北部教育研修センター長 高安 美智子

2022 年度教員養成講座（前期）の報告書Ⅱ 1 次試験結果報告

本講座受講者の第一次試験合格者は、名桜生 9 人、一般 12 人、計 21 人です。2 次試験対策から新たに本講座に参加した 2 人を加え、23 人が最終合格を目指して頑張っているところです。科目別合格者の内訳は、表 1 のようになっています。

表 1 2022 年度教員候補者選考試験第 1 次試験教科別合格者数（8 月 19 日現在）

	英語	保健体育	養護教諭	小学校	国語	数学	家庭	合計
名桜生	5	3	1					9
一 般	0	2	3	5	1+1*	1*	1	14
合 計	5	5	4	5	1+1*	1*	1	23

※ 前年度の受講者で 2 次対策講座からの参加者も含む。1*は今年の 2 次対策講座からの参加者

2022 年度の前期教員養成講座は、4 月 11 日（月）にスタートし、開講式には 38 人が参加しました。その後受講者が増え名桜生 36 人、一般 15 人、計 51 人が受講しました。今年度も、新型コロナ感染拡大により支障をきたした面もありましたが、受講生の検温、換気、教室使用後の消毒等、受講者の協力をいただき予定通り講座を実施することができました。5 月後半以降は、教育・養護実習で忙しくなり、特に県外生には地元での教育・養護実習を行うために講座に参加できない学生もいました。ただ、アンケート結果によるとメール配信での対策課題があったので継続して勉強ができて良かったという回答もありました。1 次試験対策講座は、講座の全体的な中断はなく 7 月 7 日（木）に無事終了いたしました。

第 1 次試験は、自治体によって実施日が異なりますが、6 月 25 日（日）から 7 月 22 日（金）の期間に行われました。第 2 次試験対策講座は 7 月 19 日から開始し、前半（第 1 次試験合格発表前）は 20 名、後半（合格発表後）は 13 人が参加しています。二次試験の内容は、論文（沖縄県は今年度はなし）、実技（一部）、面接、模擬授業となっており、二次試験は一人だけで対策を講じるには厳しい状況だと思われます。そのため、特に県外での受験のために帰省している学生を対象に、オンラインでの 2 次試験対策講座への参加も呼び掛けています。

沖縄県の第二次試験は 9 月 3 日、4 日に予定されています。そのため二次対策講座は 9 月 1 日（木）には終了しますが、県外の希望者にはオンラインでの支援を継続して行う予定です。さらに第三次試験まで実施する自治体は 9 月下旬まで支援は続きます。なお、例年一般受験者に比べて現役名桜生の一次試験合格者に対する二次試験合格者の合格率が低いことから、学校現場での実践力不足が指摘されていました。そこで、今年度は、教育・養護実習中だけではなく、学校現場の協力を得て、実習前後の学習ボランティアとして教育・養護実習校またはその近隣校での学習支援ボランティア活動を取り入れています。それらの体験を糧とし、自信をもって二次試験に臨んでほしいと思います。1 次試験合格者全員の最終合格を目指しています。

最終合格発表は、9 月下旬から 10 月下旬となっています。



写真 1

二次対策講座の様子
 ←写真 1
 英語科：英作文指導の様子
 写真 2→
 養護教諭：模擬授業の様子

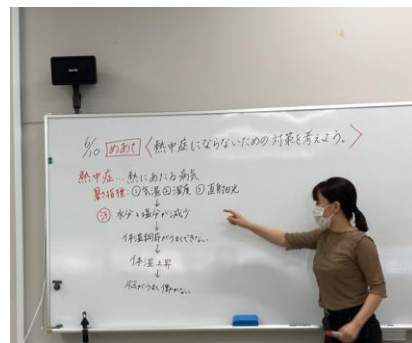


写真 2

2022 年度 教員養成講座の報告書Ⅲ （合格情報）

2022 年度実施の教員採用試験の最終合格発表が終わりました。合格者は名桜生 5 人、一般 17 人の計 22 人となりました。今年度は一般の講座受講者が減少し、一抹の不安を抱きましたが、受講生は現役生も一般も目標に向けて真摯に取り組み、さらに 2 次対策講座からの参加もあり、これまでの最高の実績を出すことができました。

教員採用試験の合格倍率は年々減少傾向にあるものの、本県は小学校以外は依然高い倍率を維持しています。また、把握している範囲での過年度卒業の合格者は 13 名となっています。その中には、沖縄県高等学校保健体育(25 倍)、中学校の保健体育(24.3 倍)という難関を突破した合格者も含まれています。さらに特筆すべきは、本県の養護教諭も 10.5 倍の難関ですが、養護教諭全合格者 15 名中、本講座を受講した 6 人(一般 4 人、過卒生 2 人)が合格を勝ち取っていることです。その他にも、かつて教員養成講座を受講した臨時的任用教員から、特別支援学校小学部に合格しましたという報告もありました。

合格は受験生の努力の賜物ですが、周囲の皆様のご理解とご支援があったからこそその結果だと喜んでいるところです。今後とも皆様のご理解とご支援をよろしくお願いいたします。

★ 2017 年度からの 6 年間の教員候補者選考試験 合格者数の推移（2022 年 10 月 31 日現在）

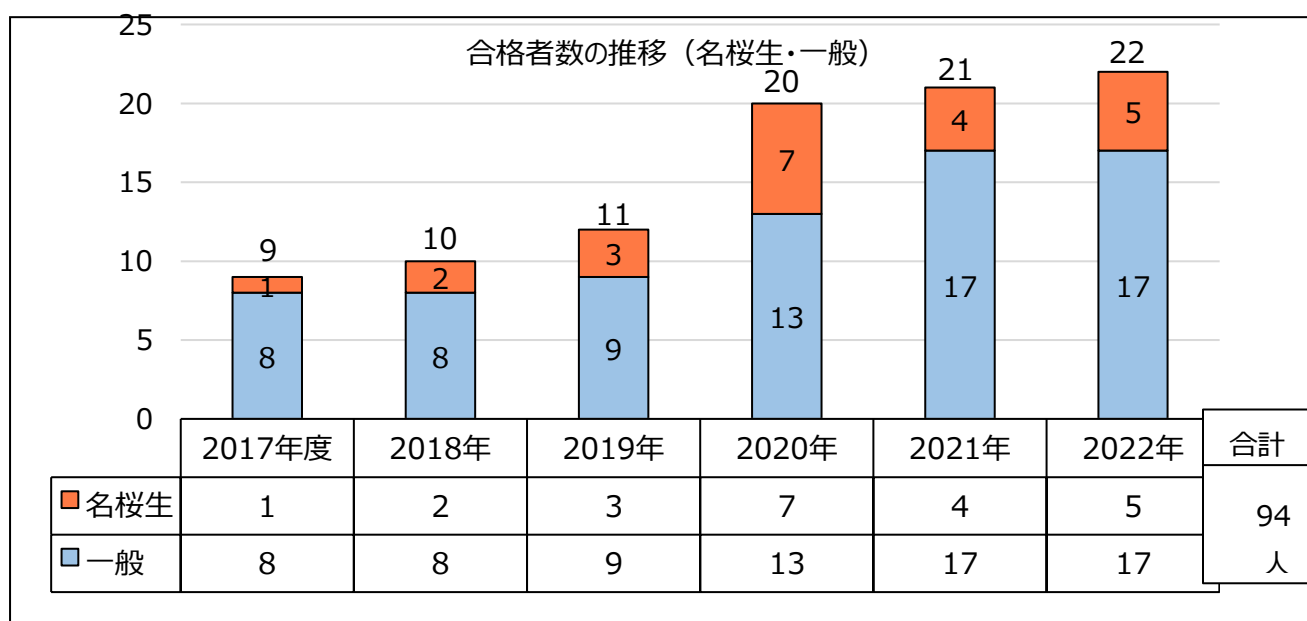


表 1 名桜生(現役+過卒)合格者 実施年度別・教科別集計（教員養成講座受講者以外も含む）

	2022	2021	2020	2019	2018	2017	2016	2015	2014	2013～	合計
英 語	5	3	3	6	5	1	2		2	0	27
養護教諭	4	4	4	6	3	1	3		5	4	34
保健体育	8	4	13	1	5	3	2	1	9	10	56
国 語										1	1
商 業										2	2
小 学 校	1	3	5	3		2	1		2	2	19
教科不明		1								1	2
合 計	18	15	25	16	13	7	8	1	18	20	141

※ 卒業後の合格情報は連絡があったもののみで、2013 年度以前の状況はあまり把握されていません。

※ 過卒も含めると 2020 年度の合格者が最も多く、現役 7 名、過卒 18 名、合計 25 名が合格しています。

表 2 一般受講者の教科別合格状況（教員養成講座開始 2017 年度からの集計）

受 験 教 科	2017 年	2018 年	2019 年	2020 年	2021 年	2022 年	計
小 学 校	5	2	6	4	10	4	31
中 高 国 語			1		1	3	5
中 社 会			1	1	1		3
中 学 数 学		3			3	2	8
中 学 理 科						1	1
中 学 英 語				3	1		4
中保健体育	2	1		2		1	6
中学家庭						1	1
高校数学	1	1		1			3
高校地歴				1			1
高校家庭						1	1
高 工 業					1		1
養 護 教 諭		1	1	1		4	7
合 計	8	8	9	13	17	17	72

~~~~~ 講座受講者合格者のコメントより ~~~~~

○途中からの受講だったのにも関わらず、時間を調整して何度も模擬授業や面接練習をしていただき、とても心強かったです。2次試験は不安だらけでしたが、何度も対策をしていただけたので、強い気持ちで本番に臨むことができました。また、仲間と一緒に考え意見交換をしたり励まし合うことができたのも、すごく力になりました。個人的には、一般の受講料が格安すぎて驚きました。これだけ親身にご指導してくださるのに本当にこの金額でいいのか…と思ったほどです。金額まで良心的で感謝の気持ちでいっぱいです。2次試験対策を通して、改めて自分自身と向き合い教員としての意志を再確認することができました。本当にありがとうございました。

○一次試験対策から大変お世話になり、特に二次試験では、手厚くご指導いただきまして、大変感謝いたします。模擬授業は毎日のようにみていただき、自信をもって本番に臨むことができました。毎回異なることをしても、温かくご指導くださり、試行錯誤できたことで納得のいく授業になったと思います。

面接対策では、発表前からたくさんの先生方に熱心にご指導していただいたおかげで、どんな質問がきても怖くない！と強靱のメンタルになりました。合格発表後は、模擬授業にどうしても時間を割いてしまうため、発表前に面接対策をみっちりできたことは、安心につながりました。これまでの人生において、面接で成功したことがなく、とても苦手意識を持っていました。しかし、今回たくさんの先生方にご指導・ご助言をいただけたおかげで、自分の経験や頭の引き出しの中から答えを簡潔に導き出せるようになり、面接が楽しいと思えるようになりました。

今回の採用試験対策を通して、自分自身を見つめ直し、成長することができました。お忙しい中、たくさんの時間を割いてくださり、温かくご指導してくださり本当にありがとうございました。北部教員養成講座を受講することができて本当によかったです。もっとたくさんの人に伝わたらいいなと願っています。本当にありがとうございました。

○途中参加な上に、県外勤務ですが、快く引き受けて下さり本当にありがとうございました。講座の時間外にも個人面接の練習を組んでいただいたこともありがたかったです。また、模擬授業では、国語科の先生がいらして、指導案を作る段階から丁寧に御指導頂けたこともありがたかったです。沖縄に戻りましたら、北部地区の子どもたちのために全力で頑張りたいと思います。本当にありがとうございました。

○約半年間、筆記対策から面接対策までの手厚いサポートをしてくださり誠にありがとうございました。筆記対策では、毎年良く出るところを網羅的に学習できたことが一次試験合格に繋がったと思います。小論文の対策では、県の小論文の傾向を捉えて数をこなし、それに付随して教育の知識が増え、結果的に面接対策に活きてきました。面接対策では、面接予想集から着想が得られ、自分の回答を考えるヒントになりました。



## 「教職スタートアップ研修会 - 教師として歩み始める皆さんへ - 」を開催

2023年2月10日(金)、北部教育研修センターと教員養成支援センターの共催で、国頭教育事務所 比嘉幹夫主任指導主事を招聘して、北部生涯学習推進センターで「教職スタートアップ研修会」を開催いたしました。

最初にセンター長より、新年度から教職に就く学生及び臨時的任用教員に向けて、教師として歩み始める不安を期待に変えるための研修であるとの趣旨の説明があり、新学期の準備をして頑張りたいとの激励のメッセージが送られました。引き続き、学級担任を想定した「児童生徒理解と学級経営」をテーマに、講話と「えんたくん」を活用してブレインストーミングを取り入れながらグループワークによる対話や作業を進めていく研修でした。具体的な学級会の進め方や、支持的な風土をつくる学級経営について学びました。特に学生にとっては、教職経験者からの情報を得る貴重な機会にもなり、お互いの情報交換から学ぶことも多かったようです。緊張しながらも楽しい研修会となりました。

本研修は、北部教育研修センター設立時の2019年度の事業として企画・実施し、好評を博したため毎年開催する予定でしたが、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため集合研修ができなくなり見送られてきました。当初は、勤務校が決まってからの3月の実施でしたが、4月から教職に就く予定の本学学生にも参加してもらおうと今年は2月の開催となりました。ただ、日程調整が難しく参加者は現役生3名、一般6名の参加でした。なお、下記の参加者のコメントから有意義な研修会になったことが分かりました。必要な研修であることを改めて認識し、次年度はオンライン参加も可能なハイブリッド講座で学生の参加者も増やしていきたいと考えております。

### 【研修の趣旨】

4月から教職をスタートする皆さんが、教師としての役割や基礎的素養、学級開き、保健室の雰囲気づくり等について学習する。お互いの考えを情報共有しながら、自信を持って心にゆとりを持って新学期の準備ができるようにする。

**出合いは人を変え、感動は人を動かす！**

相田みつお

子どもにとって最大の教育環境は**教師**である。

### — 教師として歩み始める皆さんへ —

いい仕事をするためには自信が必要です。  
そのためには教養を身に付けるといい。  
教養こそ、その人の重みなのです。  
教養があれば、自然と自信が湧いてきます。  
(藤原正彦)

「落地生根」(仲宗根用英元教育長著)

どこに赴任してもやりがいを見出して頑張りたい。  
欲しい。そこが皆さんの活躍の場なのです。

研修会の講師のスライドより紹介

## 「児童生徒理解と学級経営」 ～教師として歩み始める皆さんへ～

令和5年2月10日(金)  
国頭教育事務所  
主任指導主事 比嘉 幹男

未来を切り拓くやんばるっ子 「そろえる・つなぐ・徹底する」 国頭教育事務所

皆さんはこれから学校現場で本格的に  
教師生活を始めることになりますね。

ワクワクしていることと、  
ドキドキしていることを、

お互いに共有しましょう。

未来を切り拓くやんばるっ子 「そろえる・つなぐ・徹底する」 国頭教育事務所

教師にとって必要な資質・能力とは...



未来を切り拓くやんばるっ子 「そろえる・つなぐ・徹底する」 国頭教育事務所

### 【学級経営とは・・・】

学級・ホームルームという場において、一人一人の幼児児童生徒の成長発達が円滑かつ確実に進むように、学級・ホームルームを単位として展開される様々な教育活動の成果が上がるよう諸条件を整備し運営していくこと

平成22年3月刊行 文部科学省【生徒指導提要】より

**学級で行う教育活動＝学級経営**

未来を切り拓くやんばるっ子 「そろえる・つなぐ・徹底する」 国頭教育事務所

受講者のコメントを紹介いたします。

● 今回の教職スタートアップ研修会で得た、成果や活用策について

・改めて自分の目指す教師像を考えることが出来た。

学級活動では、子ども達の言葉を沢山拾うことで支持的風土へ繋がると学べました。

・学級経営について不安を感じていたので、今回の研修会で色々なアイデアを学ぶことが出来ました。

学級目標の立て方は非常に参考になり、参考にしたいと思います。

・特に学活の重要性や目的が詳しく学べて勉強になりました。学級経営や活動の仕方も学べて良かったです。

・現在、特別支援サポーターとして学校現場にいます。小学校教師を目指しており、比嘉先生の講話と現場をふり返り新鮮な気持ちになりました。子ども理解、子どもに寄り添う教師を目指し今日学び得たことを活かしていきます。

・学級開き等で活かそうアイスブレイクや、学級での話し合いの進め方は参考にしたい。「合意形成」

・学級経営に当たっても学級会で生徒達からの声の拾い方が解った。どうやって伝えれば良いのか、意見を聞くのかなど解らず不安があったが、グッズを使用することや尊重することなど経営方法から接し方まで幅広く学べました。

・児童生徒理解など、これから学校現場で教師として大切なことを改めて学ぶことができ、子どもの関わりに活かしていきたいと思いました。

・特活（模擬学級会）での採用されなかった子ども達への配慮（確認や声かけ）を活かしたいと思いました。

● 今回の教職スタートアップ講座で学んだこと、印象に残ったこと、感想や意見等

・藤原正彦さんの「良い仕事をするためには自信が必要です」という言葉にとっても考えさせられました。

自信が持てるよう常に学び続けたい。続けようと思いました。

・スタートのアイスブレイクは参考になりました。

・学級経営をどの様に行うか、とても気になっていた内容でした。

学校現場に持ち帰り、先生方の良い取組や子ども達の素敵などところをいっぱい言葉にして伝えたい。

・私だけでなく、これから現場に出る人、みんなが、そして指導主事の先生もはじめは不安だらけだったことを知り、自分だけが不安ではないんだと安心しました。



・今回の研修で学級経営のことについて聞いたことはとても勉強になりました。魅力ある学校を自分なりに考えてみると、他の方の考え方を聞く事でさらに教師としてこれからの自分に必要なことを再確認できました。

・担任を持ったときの不安、恐怖を感じましたがそれ以上に一つの学級を担任したとき「自分のクラスは年度末にどうなっているだろう」、「こういうクラスにしていきたいな」と考えるととても楽しみです。

・悩んでいることを共有することが出来て心が軽くなりました。又、子どもとの関わり方について自分なりに考えて実践していこうと思うことが出来ました。今回の研修で学んだことを活かせるようにします。グループ活動も非常に良かったです。

・グループワークを通して気づかされることが多くあったのでグループ活動を大切にしていきたい。

実際に学級活動の場面を軽く行うことでイメージが持てました。

・これまで思っていた「いじめ」の概念が変化した。大きいもののみがいじめの範囲という認識があり、相手がされたことに関してもどう思うかが重要であることを知った。現場に出た際には、小さな事でもしっかり対応していきたい。

・もっと沢山の研修に参加したいです。今回の研修は内容が多かったのもっと時間が欲しいと思いました。

・私は年度の後半から臨任として勤務しようと思っているので、8月～9月にもう一度こうした研修があればありがたいと感じました。ありがとうございました。

・今回の研修で現場に出る恐怖や不安があったが、それが少なくなって希望がわいてきた。もし又このような研修があれば今回のように事例や実践を多く学びたい。



## 2022 年度 教員養成講座報告書（後期終了）Ⅳ

2022 年度（後期）の教員養成講座は、11 月 10 日（木）に開講し、66 名の登録がありました。後期は、新型コロナの感染防止対策を行い、対面での講座が完全実施できました。今回から、Teams による課題の配布や解答・解説を動画で録画しアーカイブを視聴できるようにするなど、工夫しながら進めてまいりました。後期の対策講座は 3 月 16 日（木）に終了いたしました。

後期の講座は例年 2 月の後期の授業が終了した後は、学生は、春季休業に入り、帰省等で対面の参加が減りますが、3 年次の何名かの学生は対面での講座に毎回参加し、やる気に満ちています。その反面、後期の一般受講者は大幅に減少しました。夜間の講座の為、学校現場での残業による多忙感や家庭を持っているので夜間の参加が厳しいとの声が 12 月に実施したアンケート結果から知る事ができました。合格に向けた意欲を低下させることなく、継続して学習していることを願って、各自で頑張っていることを期待しているところです。

今年度は、特に養護教諭の合格者の内訳で本講座出身者が全県の合格者 15 名中 6 名が合格し、本講座出身者の頑張りとお本講座の使命が果たせたことを喜んでます。2023 年度は沖縄県教育委員会が受験年齢を実質撤廃したことを受け、これまで長期間の臨時的任用で頑張ってきた先生方の合格を後押しし、北部地区内の臨時的任用の先生方が多く受講してくれることを願っています。



後期講座風景

### ※モチベーションアップ講座の実施

1 月 20 日に名桜生の為の「モチベーションアップ講座」を開催しました。内容は、将来教師を目指している学生に改めて教師のやりがいや魅力などを伝える他、教師の給与や年金、社会的ステータスなどのライフワークバランスなどに焦点を当て、「教師になりたい」という気持ちの持続を図る為の講座を行いました。

#### <モチベーションアップ講座 受講者アンケートの結果>

1. 今回の講座で教員を目指す意気込みは変化しましたか？

- ア 更に強く教員になりたいと思った。 100%
- イ 特に気持ちに変わりはない。
- ウ 教員の現実に触れ、意欲が下がった。
- エ その他

2. これから採用試験に向けてどのように取り組んでいきますか。

- 時間や目標を改めて設定したり、モチベーションを維持しながら勉強に取り組んでいきたい。
- 「1 年で合格するか、2～3 年で合格するか、決めるのは貴女」と言う言葉がとても響いて、それを胸に秘めて追い込むよりもコツコツ頑張っていきたい。「思ってたが吉日」を思い出して頑張る。
- 友達と一緒に頑張りたいです。
- 採用試験にかけているのでこれまで以上に集中して頑張ります。もう逃げられない。
- 教員養成講座に出席する。その後の復習も必ずやる。苦しいけれど毎日続けられるように時間を作る。



### 3. モチベーションアップ講座の感想から

○私は今年の試験に合格することが出来ず、気持ちを切り替えて試験勉強に取り組む事が出来ていませんでした。

正直なところなぜ教員を目指したのかを自分自身でも見失っていました。しかし、今回の講座をきっかけにその理由を明確にする事ができました。これからは、目標を見失わないように勉強に取り組んでいきます。

○ただ教員のメリットを説明するのではなく、子どもの側の考えであったり、子どもの言葉もあっていつも以上にやる気が出ると感じました。ありがとうございます。

○自分のために頑張るより、人のために頑張る方が頑張れるという言葉聞いて確かに、と思った。そして、私の夢を応援してくれる人のために頑張ろうと思った。ありがとうございました。

○今日の話聞いて、教員になるシミュレーションをザックリ考えることが出来ました。

○問題を解く以外で教員採用試験対策のために出来ることを教えて欲しい。勉強の継続法とか。

### <後期講座修了後アンケートの結果> 2023.3.9～3.16 実施

2022 後期の講座修了に当たって行ったアンケート調査結果から、概ね講座に高評価である。後期から開始した Teams によるオンラインの動画視聴は、ソフトの関係から利用状況が把握できない為、アンケート結果からの利用状況なので一番学習効果のある「対面」での参加の為、オンラインによる動画視聴を行っている割合は少なかった。

#### 1. 後期の講座を受講して採用試験の対策に役立ちましたか？

ア. 大いに役立った。 81.8%

イ. まあまあ役立った。 18.2%

ウ. あまり役に立たなかった 0%

#### 2. あなたは講座に参加することができましたか？

ア. 殆ど参加できた。45.5% イ. まあまあ参加できた。(8割程度) 18.2%

ウ. ある程度参加できた。(5割程度) 36.4% エ. あまり参加できなかった。(5割以下) 0%

#### 3. 後期講座を受講して良かったと思うことを選択してください。(何個でも可)

ア.勉強の習慣が身についた。61.5% イ.資料や問題が充実していた。84.6%

ウ.友達やライバルがいて励みになった。53.8% エ.生活習慣にハリができた。23.1%

オ.その他 7.7%

#### 4.今回は対面の他に Teams の動画のアーカイブを配信し、解答・解説を行いました。それをどの程度活用しましたか？

ア.一般・教職教養は良く活用した。イ.専門教養(保健体育、養護教諭)はよく活用した。18.2%

ウ.両方よく活用した。エ.対面で参加したので殆ど活用しなかった。45.5%

オ.対面で参加できないときに活用した。9.1% カ.ある程度活用した。(5割程度)

キ.まあまあ活用した。(3割程度) ク.全く活用しなかった。27.3%

2023年3月16日(木)

文責 教員養成講座担当 新城 敦